

花腐菌核病の子実体Ⅲ型が確認されました。まもなく孢子飛散時期となるので、着蕾期に達した品種では防除を開始しましょう。

現在の状況

- 8月18日現在、八幡平市安代で子実体Ⅲ型(図1、2)が確認された(八幡平市花き研究開発センター調べ)。子実体の生育は例年より早い(下表)。
- 1か月予報(仙台管区気象台 8月19日発表)では、降水量はほぼ平年並の見込みであり、子実体の生育は順調に進むと考えられる。



図1 花腐菌核病の子実体生育段階



図2 子実体Ⅲ型

表 子実体Ⅳ型確認時期の年次推移 (※はⅢ型確認時期)

| 年次 | Ⅳ型確認時期 (月-半旬) | | | | | | | | | | |
|-----------|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|------|------|
| | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| 八幡平市 (安代) | 9-5 | 9-6 | 9-1 | 8-6 | 8-6 | 9-1 | 8-4※ | 8-6 | 8-6 | 8-5※ | 8-4※ |

防除対策

- 子実体の生育状況から、8月第5半旬には孢子飛散(防除開始)時期に達すると予想される。
- 孢子飛散の終了時期(平均気温が12~14℃を下回るころ)までに着蕾期から収穫期に達する品種では、防除を実施する。
- 薬剤散布は7~10日間隔で定期的に行う。降雨が続く場合には散布間隔を短くして予防散布に努める。
- 収穫終了後の残花にも感染して翌年の伝染源となるので、花が咲いているうちは薬剤散布を行う。被害茎は速やかに折り取り、花蕾を地面に落とさないよう注意して圃場外に持ち出し、処分する。

☆農薬危害防止運動実施中(6/1~8/31)☆

【利用上の注意】

- 農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- 農薬使用の際は(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

アドレス <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

